

# 保証書

品名	アイススライサー
型式	HC-8P
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

- 故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。
- 保証期間内は無料修理いたします。  
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。  
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。  
・落下・輸送上の故障。・火災・地震など天災地変による故障。  
・消耗部品の交換。・保証書のないもの。
  - 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
  - 保証書は紛失されても再発行いたしません。
  - 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。  
(This warranty is valid only in japan.)
  - 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131  
〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

## アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店でお渡します。記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡ください。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

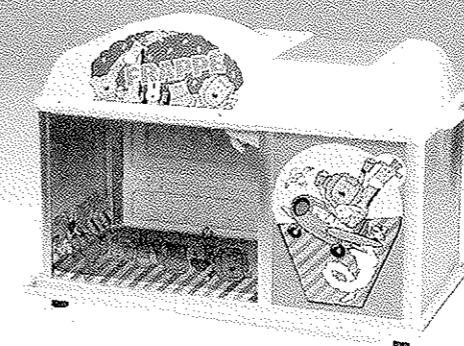
フード機器事業部/三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944  
東京/TEL 03 (3633) 9501 大阪/TEL 06 (6788) 2251  
名古屋/TEL 0594 (32) 1130 福岡/TEL 092 (474) 1312

Hatsuyuki

# 初雪氷削機 アイススライサー

## 取扱説明書

型式  
HC-8P



## もくじ

1	安全上のご注意	1
2	各部のなまえとその働き	6
	付属品	6
3	お使いになる前に	7
4	ご使用方法	8
5	刃物の交換のしかた	10
6	お手入れと点検	12
7	仕様	14
	保証書・アフターサービスについて	巻末

- このたびは、初雪アイススライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

**CHUBU**  
株式会社 中部コーポレーション

# 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。 <small>(*)</small>

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

	感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は、「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

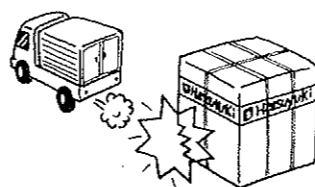
## 警告

### ●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認



### ●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
(電気工事業者による第3種接地工事が必要です。)



アース工事

(アース端子付コンセント使用のとき)



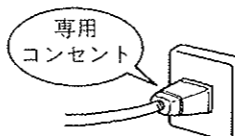
アース線を確実につなぐ

### ●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源



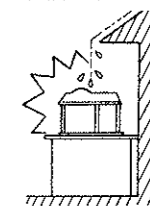
## 警告

### ●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

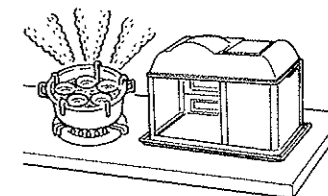


### ●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

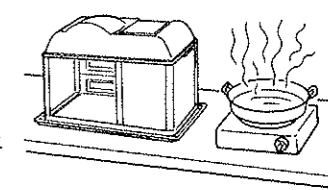


### ●熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

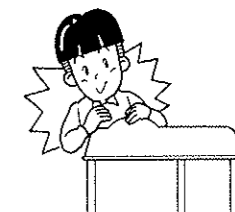


### ●本機は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

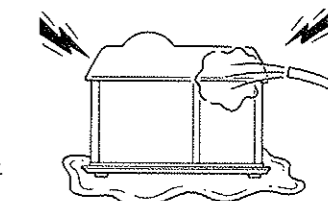


### ●製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

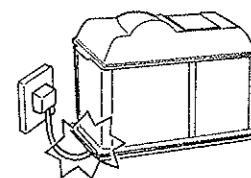


### ●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

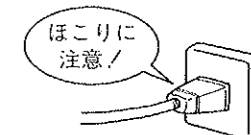


### ●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

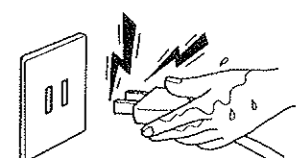


### ●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止



# 安全上のご注意

# 1

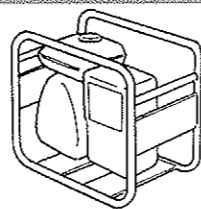
## 警告

### ● 発電機を使用しないこと

製品又は発電機が焼損し火災の原因になることがあります。



禁止

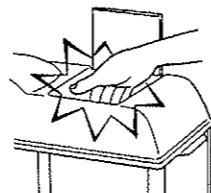


### ● 運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手をいれないこと

ケガの原因になります。



禁止

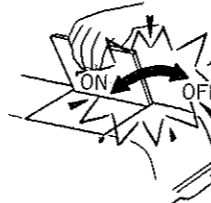


### ● 投入口フタの開閉を電源スイッチのかわりに使わないこと

安全スイッチが焼損し、火災の原因になることがあります。



禁止



### ● 漏電遮断器が、『OFF(切)』に作動した場合には、最寄りの販売会社に連絡すること

無理に『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡



### ● 異常時（ふだんと違った音がする時など）は、電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けるとケガ、感電、火災の原因になります。



プラグをぬく



### ● 切削室内の掃除や、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁止

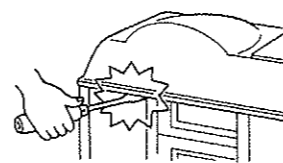


### ● 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

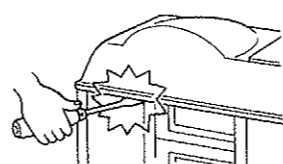


### ● 改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止



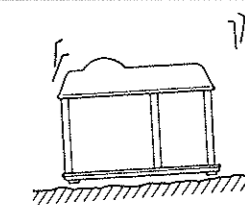
## 注意

### ● 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

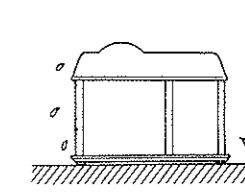


### ● 水滴が落ちててもよいところに据え付けること

周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

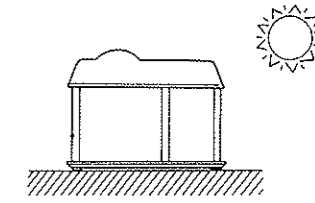


### ● 直射日光のあたるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

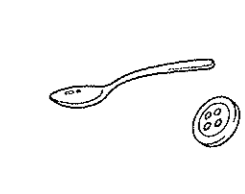


### ● 切削室の中に氷以外の異物（スプーン、つま楊枝、ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、発火の原因になることがあります。



異物禁止

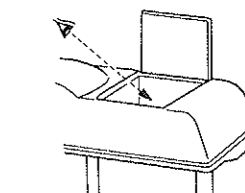


### ● 運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜き、削った氷はすて、氷以外の異物（スプーン、つま楊枝、ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中にあることを確認すること

ケガの原因になることがあります。

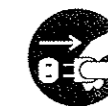


異物確認

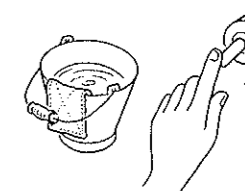


### ● 掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを「切」にして、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。



プラグを抜く

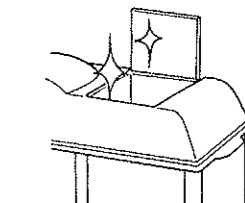


### ● 切削室は使用前に必ず洗浄すること

洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。水出口は常に掃除してください。



洗浄

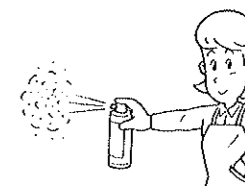


### ● 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないようにすること

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止



# 安全上のご注意

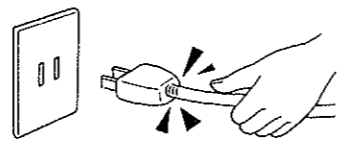
# 1

## ⚠ 注意

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと  
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

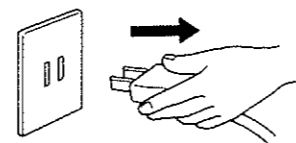


● 1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜って発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く



● 廃却は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物の廃却は危険な物として処理してください。



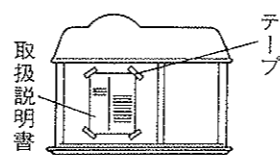
専門業者



● このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め



# 各部のなまえとその働き

# 2

投入口フタ

このフタを開けて氷を投入します。  
この下に切削室があります。

電源スイッチ

運転・停止の操作につかいます。

頭カバー

照明スイッチ

プロテクター

過負荷でモーターが止まったとき、このボタンを押しモーターを動かします。

ストッカー

削った氷がたまります。

バット

容器から落ちた氷と水を受けます。

氷取出口フタ

排水口

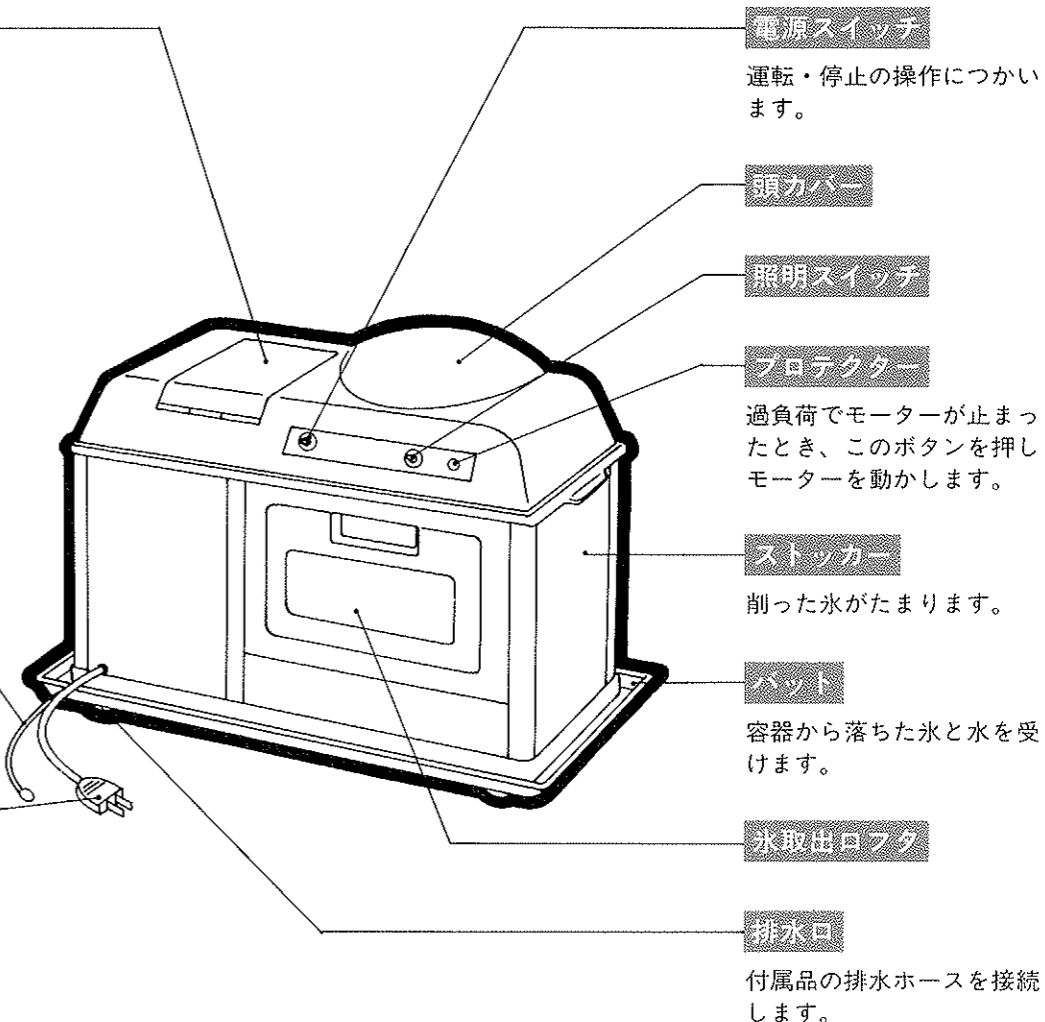
付属品の排水ホースを接続します。

アース線

万一の感電防止のため必ずアース工事をします。

電源コード

先端のプラグを単相100V専用コンセントにつなぎます。

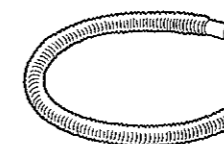


## 付属品

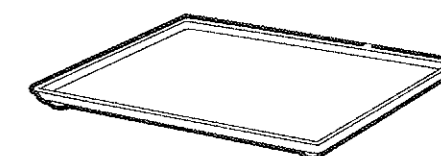
予備刃物（1個）  
刃物交換のとき使います。



排水ホース（1個）  
バットの排水口に接続します。



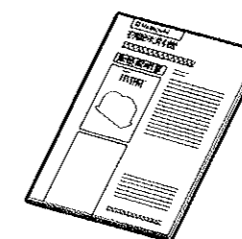
バット



レードル  
（おたま）



取扱説明書（本書）



## 警告

### アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

電気工事業者による第3種接地工事が必要です。

### 電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

### 発電機を使用しないこと

製品又は発電機が焼損し火災の原因になることがあります。



禁止

### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

### 湿気が多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

### 熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

## 注意

### 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

設置に不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

### 水滴が落ちてもしよところに据え付けること

周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

### 直射日光のあたるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

- 電源は、交流100Vに接続してください。
  - ただし、発電機を使用しないでください。発電機使用時の故障は責任をもちません。
- 排水ホースの接続
  - バットの排水口に排水ホースをつないでください。

## 警告

### 運転中に投入口フタを開けたり、切削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。



禁止

### 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

### 異常時（ふだんと違った音がする時など）は、電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けるとケガ、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

## 注意

### 切削室の中に氷以外の異物（スプーン、つま楊枝、ボタンなど）は入れないこと

モーターが止まり、発熱、発火の原因になることがあります。



異物禁止

### 運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜き、削った氷はすべて、氷以外の異物（スプーン、つま楊枝、ボタンなど）や刃物の破片が切削室の中に入らないことを確認すること

ケガの原因になります。



異物確認

## 注意

### 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないようにすること

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

### 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因になることがあります。



禁止

### 1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜って発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

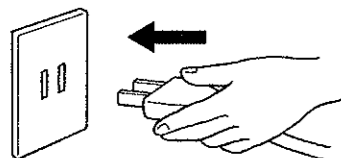
## お願い

- 氷が白色で不透明のときは硬すぎ切削に不向きです。透明になるまで待って使用してください。
- 切削室に残ったキューブアイスは取り出せません。「投入量のめやす」（次頁）を参考にして必要量を入れてください。

## 手順

### 1. 電源プラグを差し込む

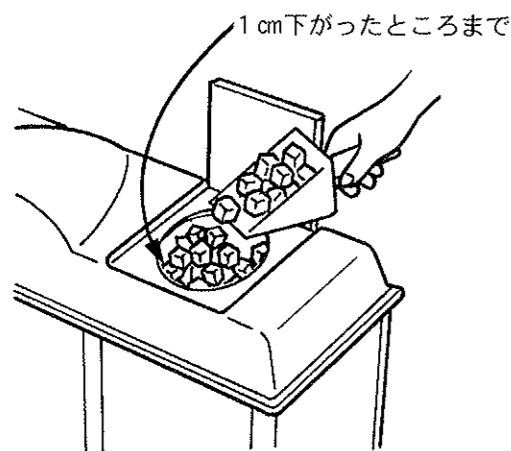
- 電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



### 2. キューブアイスを入れる

- 機械が止まっていることを確認し、投入口フタを開けてください。
- 必要量の氷を入れてください。
- 投入量は投入口より約1cm下がったところまでに均一に入れてください。かたよりは振動の原因になります。

※投入量のめやす  
1杯200gの場合…キューブアイス8～9個



### 3. 投入口フタを確実に閉める

### 4. 電源スイッチを入れる(氷削開始)

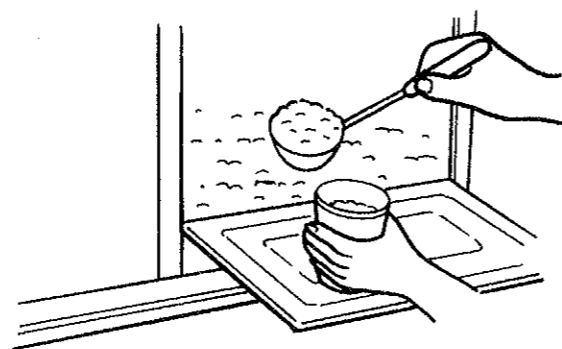
- 必ず投入口フタをしめてから電源スイッチ(POWER)を入れてください。

### 5. 氷削粗さを調節する

- 刃物調節つまみをまわして、お好みの粗さにします。



### 6. ストッカーに溜った氷をレードルで器に盛る



### 7. 照明をつける

- 機械上部右側のスイッチを「ON」にするとストッカー上部の蛍光灯が点灯します。

### 8. 電源スイッチを切る(運転停止)

- 電源スイッチを「切」にしてください。

### 9. 使用後は電源プラグを抜く

- 一日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。

## プロテクターについて

モーター保護のため、負荷がかかり過ぎると自動的に機械を止める装置です。プロテクターが作動した場合(機械が止まって赤いボタンが飛び出る)は、電源スイッチを切り次の処理をしてください。  
 (1)コンセントから電源プラグを抜く。  
 (2)切削室内に異物が入っていたら取り除く。  
 (3)赤いボタンを押す。(プロテクター復帰)  
 ※プロテクターがたびたび作動する場合は購入店にご相談ください。

## 安全スイッチについて

氷削中に投入口フタを開けると安全スイッチが働き機械が停止します。



警告

投入口フタの開閉を電源スイッチのかわりに使わないこと



安全スイッチが焼損し、火災の原因になることがあります。 禁止

## 刃物交換のしかた



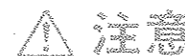
警告

切削室内の掃除や、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと



禁止

ケガの原因になります。



注意

掃除をするときや点検のときは、必ず電源スイッチを「切」にして、電源プラグも抜くこと

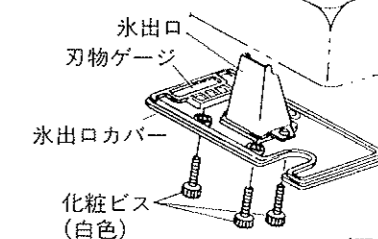


プラグを抜く

思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。

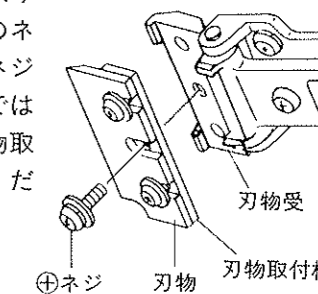
## スライス刃物の取りはずしかた

- 1) 化粧ビス3本を手ではずし、氷出口カバーを本体からはずしてください。



(図1)

- 2) 刃物受と刃物を取り付けている3本のネジのうち中央のネジを⊕ドライバーではずし、刃物・刃物取付板をはずしてください。



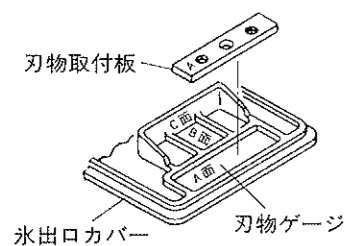
(図2)

- 3) 刃物と刃物取付板を取り付けている2本のネジを⊕ドライバーではずし、刃物をはずしてください。

# 刃物交換のしかた

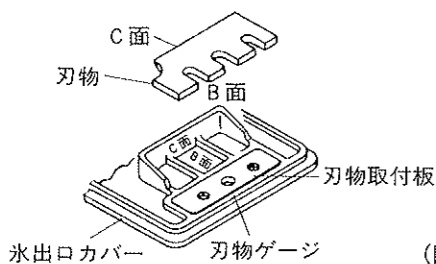
## スライス刃物の取り付けかた

- 1) 氷出口カバーの裏側にある刃物ゲージのA面に刃物取付板を刻印Aが上になるようにはめこんでください。



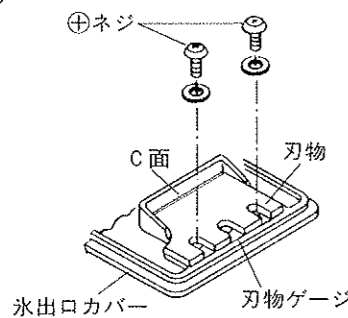
(図3)

- 2) 刃物取付板と刃物ゲージのB面に刃物をのせてください。



(図4)

- 3) 刃物ゲージのC面に刃先を確実に押し付けて2本の⊕ネジで、刃物と刃物取付板を組み立ててください。



(図5)

- 4) 組み立てた刃物を刃物受にはめこみ中央のネジで固定してください。(図2)

- 5) 氷出口カバーを本体に取り付けてください。(図1)

# 5

## 警告

製品に直接水をかけないこと  
ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと  
感電の原因になります。



濡手禁止

切削室内の掃除や、刃物交換のときは必ず電源スイッチを「切」にして手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと  
ケガの原因になります。



禁止

## 注意

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを「切」にして、電源プラグも抜くこと  
思わぬところに水が入って感電したり、やけどの原因になることがあります。



プラグを抜く

可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないようにすること  
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁止

## 蛍光灯の取換え

頭カバーを固定している6本のビスをはずし頭カバーを取りはずせば蛍光管やグロー球の取り換えができます。

# お手入れと点検

# 6

## 注意

切削室・ストッカーは常に洗浄すること  
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



洗浄

## お願い

- (1) 40°C以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- (2) 次のようなものは使わないでください。塗装面やプラスチック面をいためます。シンナー、ベンジン、アルコール、石油、粉石けん、みがき粉、アルカリ性洗剤、酸、たわしなど。なお化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」にしたがってください。

## お手入れ

### 1. 氷出口の掃除

氷出口は常に掃除してください。

### 2. 切削室の洗浄

常に掃除をしてください。刃物調節つまみを左へいっぱいまわして刃物を切削室より下げてから、柔らかい布にぬるま湯を含ませてふいてください。

### 3. ストッカーの掃除

氷取出し口の扉を開けて上方向に引けば扉の下部の板がスライドします。金網を取り出し、ストッカー内部を水洗いしてください。但し、ストッカーの上部は、水をかけないようにしてください。

## 点検

### 1. アース線の点検

アース線は切れたり接続部が緩んでいませんか？異常のときは、電気工事業者に修理を依頼してください。

### 2. 電源プラグの点検

## 警告

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

## よごれが目立つときのお手入れ

### 本体外面

中性洗剤を入れたぬるま湯でふいたあと、洗剤分が残らないように水でふきとってください。

## 保管方法

1カ月以上使用しないときは本機を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

## 修理を依頼するまえに



**警告**

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

感電の原因になることがあります。

異常時は、電源スイッチを「切」にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること



プラグを抜く

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

改造は絶対におこなわないこと



改造禁止

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。

## お願い

故障かな?と思ったら、まず次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、すぐに最寄りの販売会社へご連絡ください。

販売会社へ連絡するときは、型式、製造番号、お買上年月日(保証書に記載)と、故障状況をお知らせください。

## 1. 製品が動かないとき

- (1)電源プラグが抜け落ちていませんか?  
抜けているときは、コンセントに差してください。
- (2)プロテクターの赤いボタンが出ていませんか?  
出ているときは、10ページの「プロテクターについて」を読んで処置してください。

## 2. 製品は動くが氷が削れないとき

- (1)刃先が十分出ていますか?  
出ていないときは、刃物調節つまみを右にまわしてください。
- (2)刃物が切れなくなっていますか?  
切れないときは、刃物を交換してください。

## 譲渡



**注意**

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

# 仕様・保証

## 仕様

型式	電源	定格消費電力	モーター出力	ストッカー容量	質量	外形寸法(mm)			氷削能力kg/min
						巾	奥行	高さ	
HC-8P	単相100V 50/60Hz	240W	200W	約40~45杯	26.5kg	850	410	675	1.5/1.8kg/min

※氷収容量はキューブアイス30mm角を基準とします。(一杯200gとすると必要なキューブアイスの数は8~9個)

## この製品には、保証書がついています。

- (1)保証書は、最寄りの販売会社で発行しますから、必ずお受け取りのうえ、よくお読みになり大切に保管してください。(日本国内のみ有効)
- (2)保証期間中、正常な使用状況で万一故障がおきた場合は、保証書記載内容にもとづいて無償修理いたします。

- (3)修理/サービスについては、最寄りの販売会社へ依頼してください。
- (4)転居などで修理/サービスの依頼先が不明の場合は裏表紙に記載の最寄りの当社営業所に相談してください。
- (5)お客様ご自身で製品を改造された場合は、製品の保証をいたしかねます。